



【審査証明番号／有効期限】	BCJ-審査証明-67/2025年3月12日
【技術の名称】	鉄筋コンクリート防錆工法 「リフリート工法 DS-HG仕様」
【依頼者(審査証明取得者)】	太平洋マテリアル株式会社

【技術概要】

本工法は、新築及び既設を問わず、鉄筋コンクリート構造物等において、中性化または塩化物(鉄筋近傍のコンクリート中の塩化物イオン量が $1.8\text{kg}/\text{m}^3$ 以下の場合)の影響により鉄筋の腐食が進行する恐れがある場合及び鉄筋腐食が生じている場合にその進行を抑制する防錆工法である。すなわち、①高圧水処理によってコンクリート表面の洗浄、目荒しを行った後、コンクリートの表面含水率を確認し、②「DS-400」をコンクリートに塗布し、③更に浸透性防錆剤を含有する「DS防錆ペースト」を塗り付けることによって、鉄筋コンクリート構造物等の鉄筋の防食性を向上すると同時に各種仕上材の施工可能な下地調整を行うもので、コンクリートの目荒し状態や表面含水率など、各施工工程での管理項目と管理基準に従い施工することによって、防錆が必要とされる部分に効果的に所定量の防錆成分を付与する工法である。

【開発の趣旨】

鉄筋コンクリート構造物の耐久性を確保する上で、鋼材の防食は最も重要であり、従来より種々の方法が提案され実施されている。例えば、コンクリート中の鋼材を防食する方法の一つとして、コンクリート調合時に「鉄筋コンクリート用防せい剤」を混和し、それを打設する方法があるが、①防せい剤の使用量が多く効率的でないこと、②新規設備が必要であること、等からごく限られた場合にしか実施されていない。

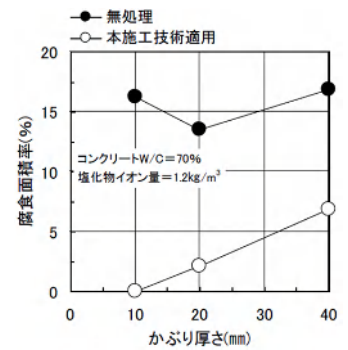
このような状況を踏まえ、特別な設備を使わず、必要とされる部分に防錆剤を確実に付与する工法を開発し、しかも、仕上材を施工するための下地調整工事と同じ工程数にして建築工事の施工の合理化を図るとともに耐久性のある下地調整が可能な工法を確立し、普及を図る。

【開発目標および審査証明結果】

本技術において、前記の開発の趣旨、開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

(1) 発錆する恐れのある部分(鉄筋近傍のコンク

リート中の塩化物イオン量が $1.8\text{kg}/\text{m}^3$ 以下の場合)のコンクリート表面に、 $200\text{g}/\text{m}^2$ 以上の量の浸透性防錆剤「DS-400」を塗布し、さらに「DS防錆ペースト」を平均 $2\text{mm}$ 以上の厚さで塗り付けることによって、本工法を適用しない場合と比較して、鉄筋に対する防食性を向上させることができるものと判断される。



- (2) 高圧水処理によってコンクリート表面を適切な状態に目荒しし、さらに、表面含水率を8%以下とすることによって、適用部分に確実に $200\text{g}/\text{m}^2$ 以上の量の浸透性防錆剤「DS-400」を塗布し、本工法を適用しない場合と比較して、鉄筋に対する防食性を向上させることができるものと判断される。
- (3) 「DS防錆ペースト」を平均 $2\text{mm}$ 以上の厚さで適用部分に塗り付けることによって、コンクリートの中酸化速度を本工法を適用しない場合の $1/2$ 以下とし、耐久性を向上させることができるものと判断される。
- (4) 本工法で実施する「DS防錆ペースト」は、JIS A 6916-2006「建築用下地調整塗材」の「セメント系下地塗材 2種 C-2」の品質規格を満足し、各種仕上材が施工できる下地調整を可能とするものと判断される。
- (5) 新築工事の仮設を利用して施工し、従来の下地調整工法と同じ工程数で実施することができるものと判断される。
- (6) 本工法を適切に実施するために必要な施工体制及び標準施工マニュアルが完備されると判断される。

【本技術の問い合わせ先】

太平洋マテリアル株式会社

営業本部 機能性材料営業部

TEL : 03-5832-5217 FAX : 03-5832-5254

技術紹介サイト <http://www.taiheiyo-m.co.jp>